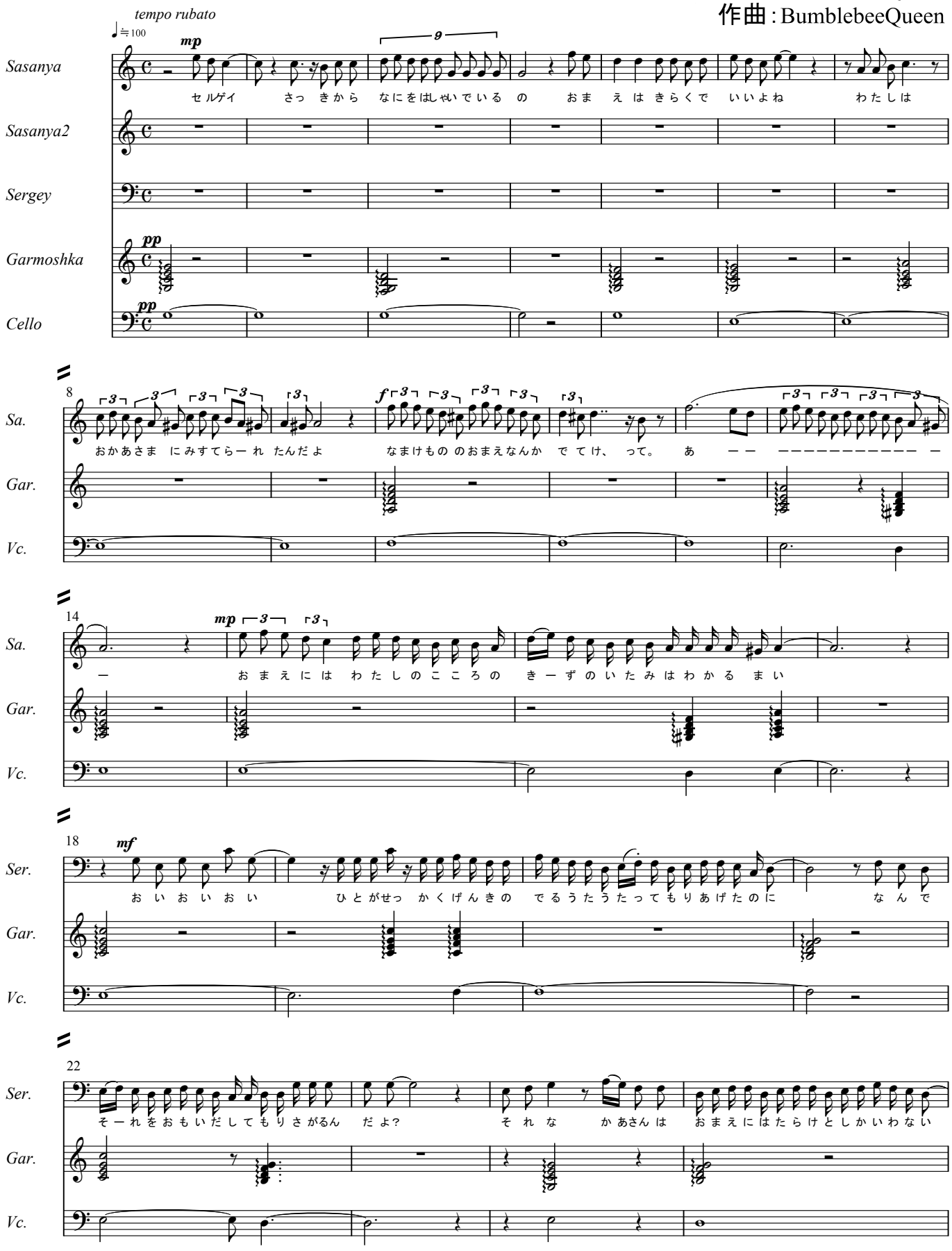
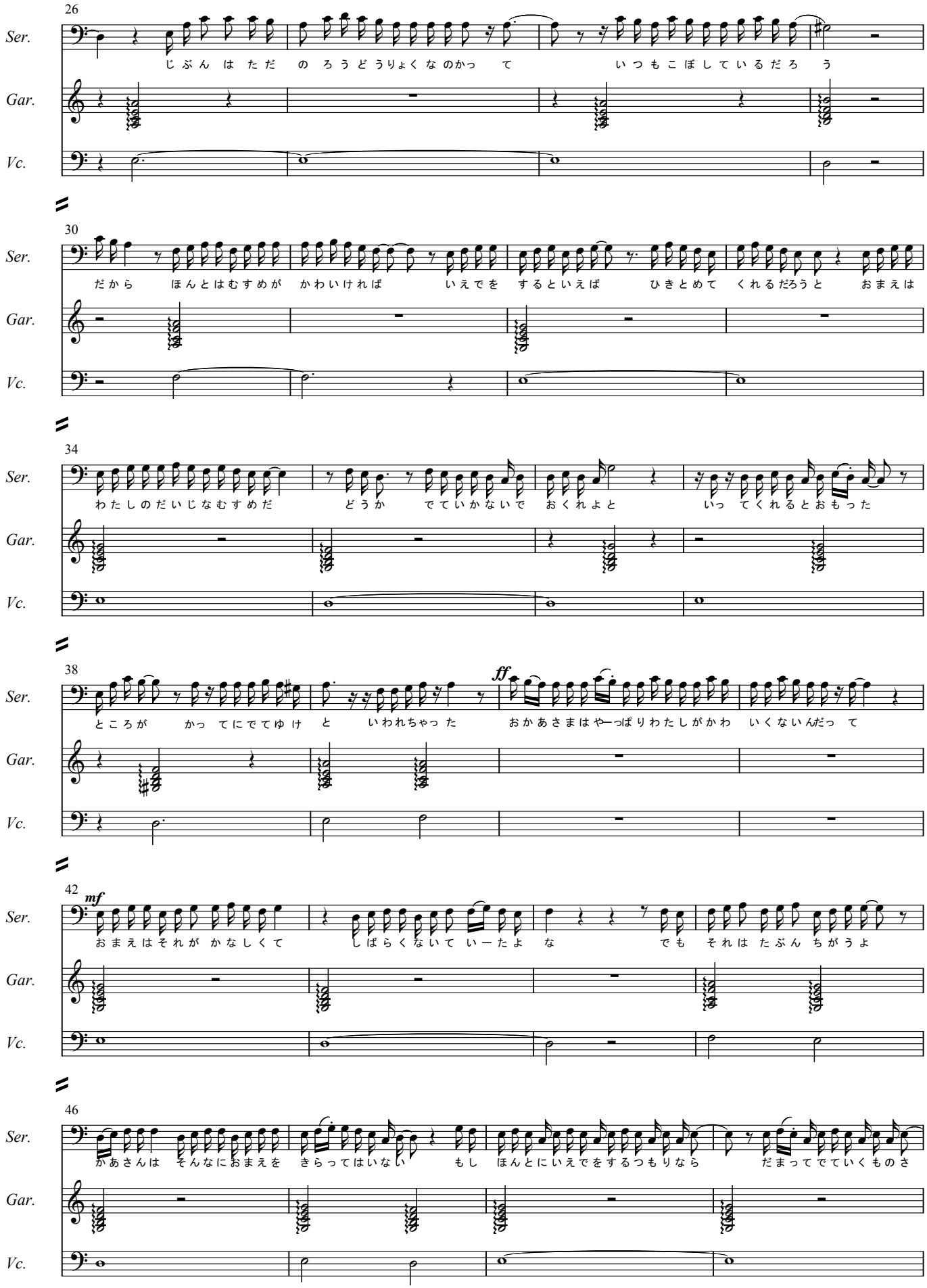
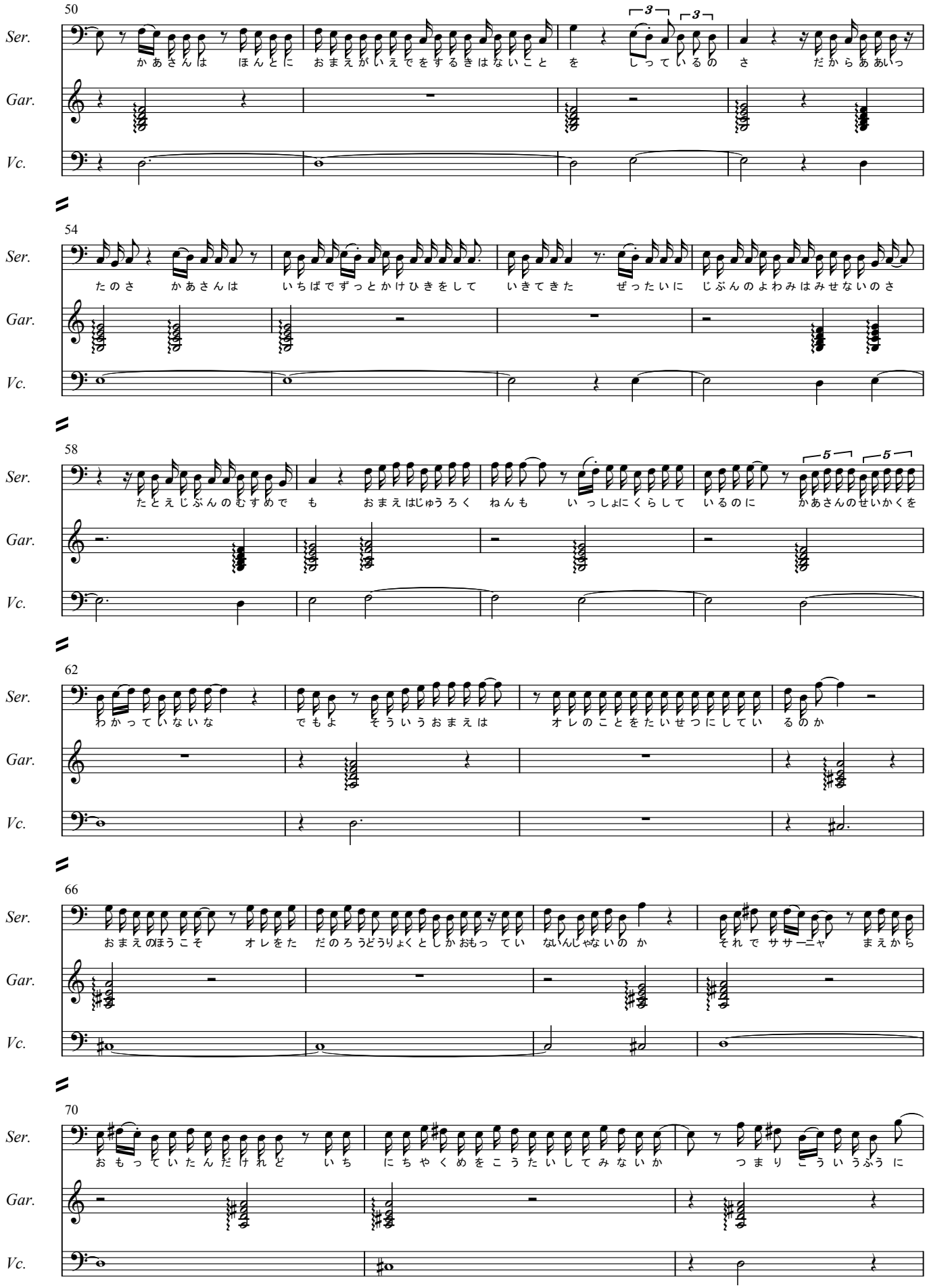
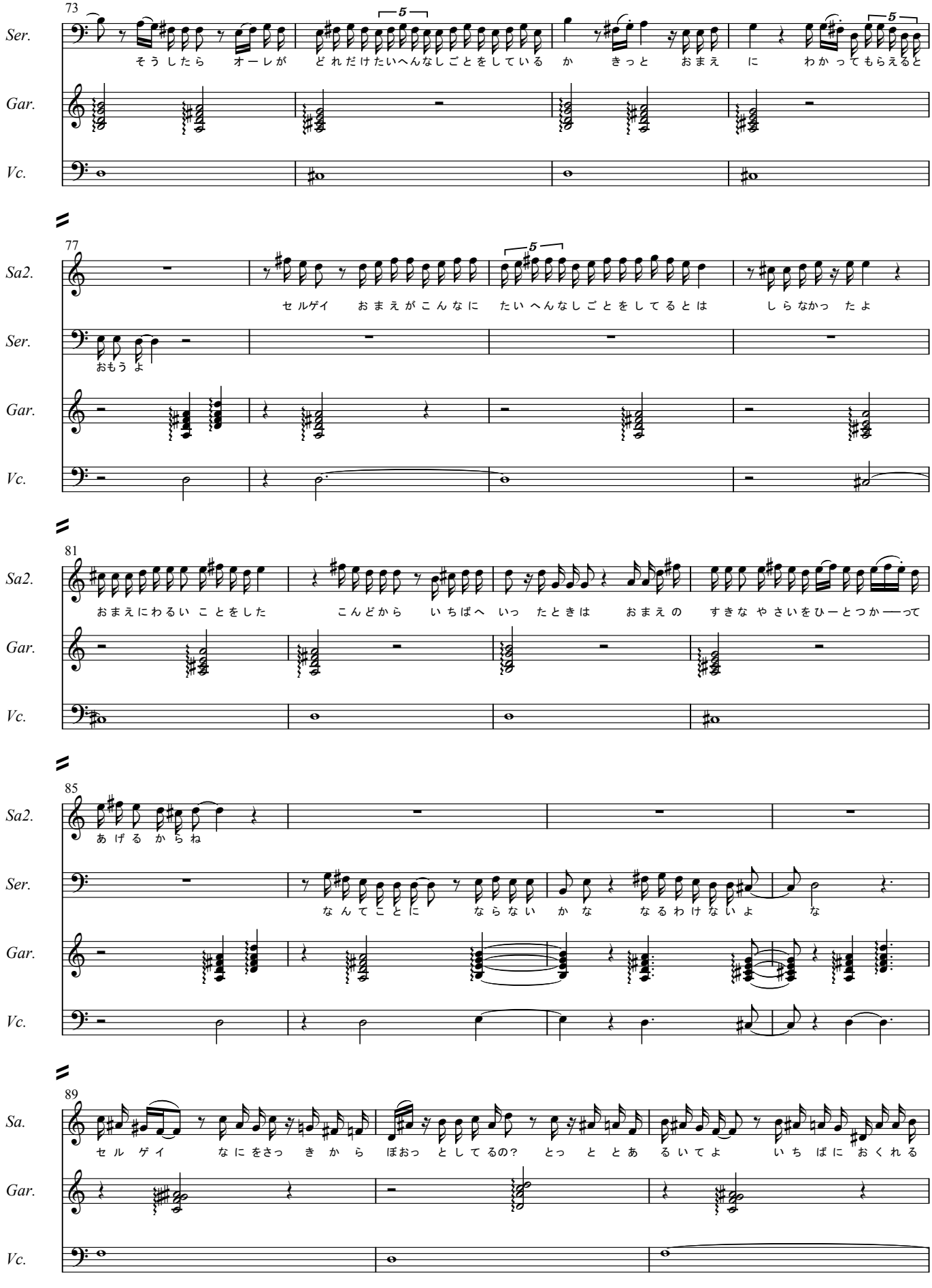
13. レチタティーヴォ

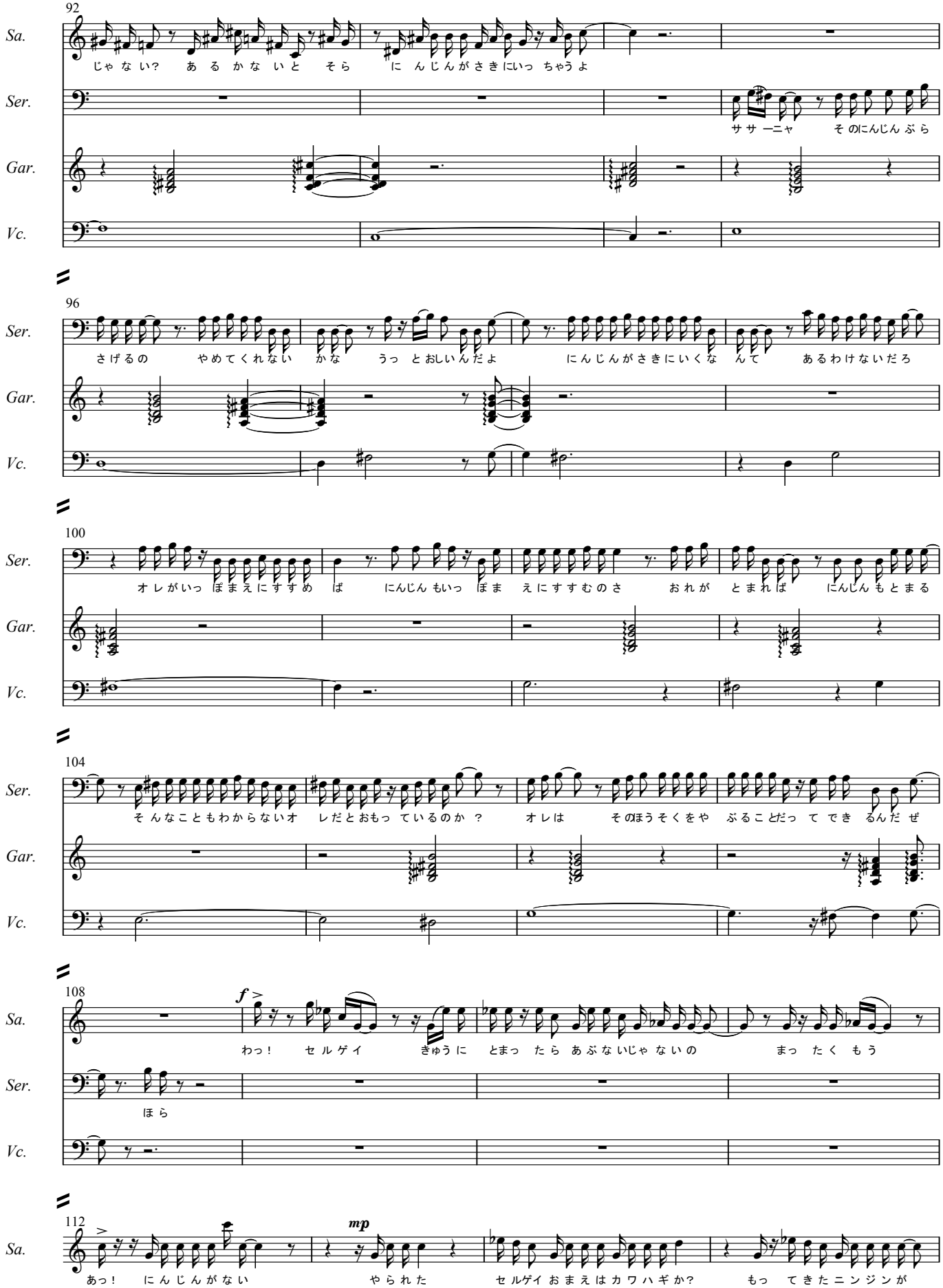
歌劇《ササーニャ》
作詞：BumblebeeQueen
作曲：BumblebeeQueen

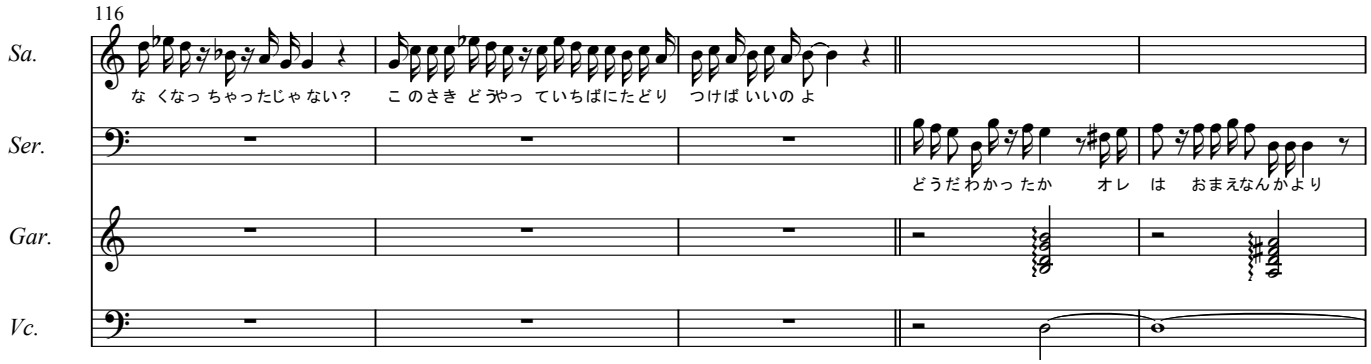


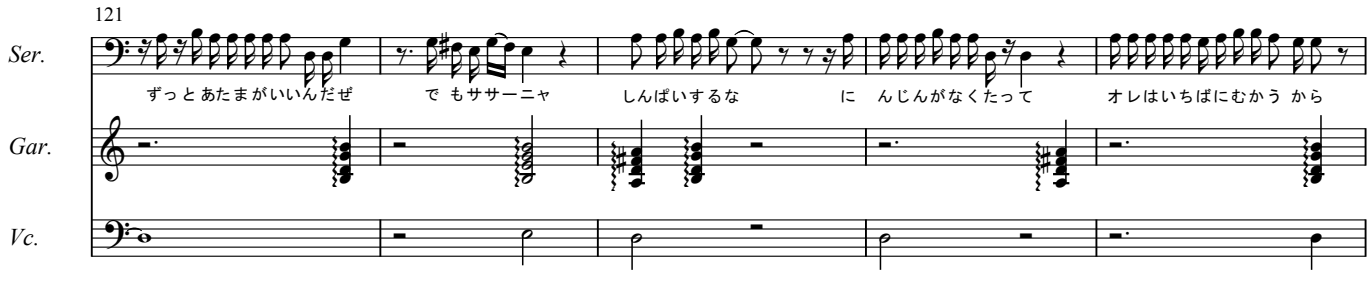

26
Ser.
じぶんはただのろうどうりょくなのかって
いつもこぼしているだろう
Gar.
Vc.
30
Ser.
だから ほんとはむすめが かわいければ いえでを するといえば ひきとめて くれるだろうと おまえは
Gar.
Vc.
34
Ser.
わたしのだいじなむすめだ どうか でていかないで おくれよと いって くれるとおもった
Gar.
Vc.
38
Ser.
ところが かってにでてゆけ と いわれちゃった ff おかあさまはやーっぱりわたしがかわ いくないんだって
Gar.
Vc.
42
mf
Ser.
おまえはそれが かなしくて しばらくないて いーたよ な でも それは たぶん ちがうよ
Gar.
Vc.
46
Ser.
かあさんは そんなにおまえを きらってはいない もし ほんとにいえでをするつもりなら だまってでていくものさ
Gar.
Vc.

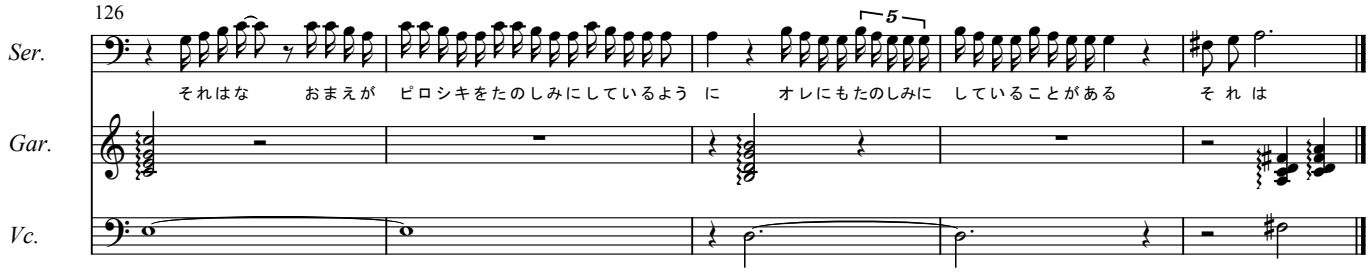

50
Ser.
Gar.
Vc.
かあさんは ほんとに おまえがいえでをするきはないこと を しっているの さ だからあいっ
54
Ser.
Gar.
Vc.
たのさ かあさんは いちばでずっとかけひきをして いきてきた ぜったいに じぶんのよわみはみせないのさ
58
Ser.
Gar.
Vc.
たとえじぶんのむすめで も おまえはじゅうろく ねんも いっしょにくらして いるのに かあさんのせいかくを
62
Ser.
Gar.
Vc.
わかっていないな でもよ そういうおまえは オレのことをたいせつにしてい るのか
66
Ser.
Gar.
Vc.
おまえのほうこそ オレをた だのろうどうりょくとしかおもっ ていないんじゃないのか それでササーニャ まえから
70
Ser.
Gar.
Vc.
おもっていたんだけれど いち にちやくめをこうたいしてみないか つまりこういうふうに


73
Ser.
そうしたら オーレが どれだけたいへんなしごとをしている か きっと おまえ に わかってもらえると
Gar.
Vc.
77
Sa2.
セルゲイ おまえがこんなに たいへんなしごとをしてるとは しらなかっ たよ
Ser.
おもうよ
Gar.
Vc.
81
Sa2.
おまえにわるい ことをした こんどから いちばへ いっ たときは おまえの すきな やさいをひーとつか──って
Gar.
Vc.
85
Sa2.
あげるからね
Ser.
なんてことに ならない かな なるわけないよ な
Gar.
Vc.
89
Sa.
セル ゲイ なにをさっ きから ぼおっ としてるの? とっ とあ るいてよ いち ばにおくれる
Gar.
Vc.


92
Sa.
じゃ な い? あ る か な い と そら に ん じ ん が さ き に い っ ちゃう よ
Ser.
サ サ ーニャ そ のにんじん ぶ ら
Gar.
Vc.
96
Ser.
さげるの やめてくれない かな うっ とおしいんだよ にんじんがさきにいくな んて あるわけないだろ
Gar.
Vc.
100
Ser.
オ レ がいっ ぽ ま え に す す め ば にんじん もいっ ぽ ま え に す す む の さ お れ が と ま れ ば にんじん も と ま る
Gar.
Vc.
104
Ser.
そ ん なこともわからないオ レだとおもっ ているのか ? オレは そのほうそくをや ぶるこだっ て でき るんだ ぜ
Gar.
Vc.
108
Sa.
f
わっ! セ ル ゲ イ きゅう に とまっ た ら あ ぶ な いじゃ な い の まっ た く も う
Ser.
ほ ら
Vc.
112
Sa.
mp
あっ! に ん じ ん が な い やられた セ ル ゲ イ お ま え は カ ワ ハ ギ か? もっ て き た ニ ン ジ ン が







(ササーニャ)
セルゲイ、さっきから何をはしゃいでいるの？お前は気楽でいいよね 私はお母様に見捨てられたんだよ
怠け者のお前なんか出てけ、って ああ・・・ お前には私の心の傷の痛みは分かるまい

(セルゲイ)
おいおいおい 人がせっかく元気の出る歌うたって盛り上げたのに 何でそれを思い出して盛り下がるんだよ？
それな 母さんはお前に働けとしか言わない 自分はただの労働力なのかって いつもこぼしているだろう？

だから 本当は娘が可愛ければ 家出をすると言えば 引き止めてくれるだろうと
お前は私の大事な娘だ どうか出て行かないでおくれよと 言ってくれると思った

ところが 勝手に出て行けと言われちゃった お母様はやっぱり私が可愛くないんだって
お前はそれが悲しくて しばらく泣いていたよな でもそれは多分違うよ 母さんはそんなにお前を嫌ってはいない

もし本当に家出をするつもりなら 黙って出て行くものさ
母さんは本当にお前が家出をする気はないことを 知っているのさ だからああ言ったのさ

母さんは市場でずっと駆け引きをして生きてきた 絶対に自分の弱みは見せないのさ たとえ自分の娘でも
お前は16年も一緒に暮らしているのに 母さんの性格を分かっていないな

でもよ そう言うお前は オレのことを大切にしているのか？お前のほうこそ
オレをただの労働力としか思っていないんじゃないのか？

それでササーニャ、前から思っていたんだけど 一日役目を交代してみないか？つまりこういう風に
そうしたら オレがどれだけ大変な仕事をしているか きっとお前に 分かってもらえると思うよ

(空想の中のササーニャ)
セルゲイ、お前がこんなに大変な仕事をしてるとは 知らなかったよ お前に悪いことをした
今度から 市場へ行ったときは お前の好きな野菜を一つ買ってあげるからね

（セルゲイ） なんてことにならないかな？なるわけないよな・・・

（ササーニャ）
セルゲイ、何をさっきからぼおっとしてるの？とっとと歩いてよ　市場に遅れるじゃない？
歩かないと、そら、人参が先に行っちゃうよ

（セルゲイ）
ササーニャ、そのにんじんぶら下げるの　やめてくれないかな？うっとおしいんだよ
人参が先に行くなんて　あるわけないだろ？

オレが一歩前に進めば　人参も一歩前に進むのさ　オレが止まれば　人参も止まる
そんなことも分からないオレだと思っているのか？　オレはその法則を破ることだってできるんだぜ　ほら

（ササーニャ）
わっ！セルゲイ、急に止まったら危ないじゃないの？まったくもう・・・　あっ！人参がない！
やられた　セルゲイ、お前はカワハギか？　持ってきた人参がなくなっちゃったじゃない？
この先どうやって市場にたどりつけばいいのよ？

（セルゲイ）
どうだ分かったか？オレはお前なんかより　ずっと頭がいいんだぜ　でもササーニャ　心配するな
人参がなくたって　オレは市場に向かうから　それはな　お前がピロシキを楽しみにしているように
オレにも楽しみにしていることがある　それは・・・